

ぽけっとラジオ

代表者	平峯朋子	(教4年)		
構成員	石井政伸	(理工M1)	迎史子	(教3年)
	坂井辰司	(教2年)	村上智美	(人2年)

1. プロジェクトの目的

学生・職員・地域という山口大学をとりまく全ての人々のつながりを深め、山口大学の存在や活動をアピールすることによって、そこにおける活動の活性化を目指す。

2. プロジェクトの内容

インターネットラジオ番組の製作・放送により、山口大学の存在や活動を多くの人に知らせる。

3. 活動状況

I. 番組制作

- ・2008.4.13 公開『春が来た!!新フェス特集 2008』

2008年度新入生歓迎フェスティバルにて、新入生を対象とした部活動およびサークル団体のPR番組を収録した。当日、25団体の協力が得られた。

- ・2008.6.28 公開『Live on Radio in TANABATA Fes' 2008 前夜祭』

吉田寮にて第37回七夕祭の準備の様子を収録し、宣伝番組を制作した。

他

II. 生放送

現在までに学内イベントにおいて2度の生放送を行った。ぽけっとラジオメンバーに関わらず、広くメンバーを募集し、共に放送作りに取り組んだ。

- ・『Live on Radio in TANABATA Fes' 2008』

昨年度の活動に引き続き、第37回七夕祭においてインターネットおよびミニFM(80.8MHz)ラジオ生放送を行った。

i. 目的

七夕祭におけるリアルタイムでの情報提供により七夕祭及び山口大学周辺地域の活性化を行う。

ii. 日時等

日時：2008年7月5日(土) 14:00~22:00(8時間)

場所：山口大学吉田キャンパスメディア基盤センター1F

iii. 対象

- ・七夕祭来場者
- ・地域住民および山口大学関係者など

iv. 実施内容

ラジオ公開生放送

【配信方法】

- ・ストリーミング配信
- ・ミニFM(80.8MHz)

【お便り】

番組に対する感想・意見やお便りテーマに応じたメッセージをE-Mail及びお便りボックスで募集し、番組内で紹介した。

表1 『Live on Radio in TANABATA Fes' 2008』番組表

時間	タイトル	ゲスト	内容
14:00～	オープニング ～ああ！また来たバタ祭～	-	オープニング
14:10～	七夕祭への熱き想い～部長対談～	-	七夕祭実行委員の部長たちによる対談（事前収録）
14:40～	ステージ「萌」情報！	企画部部长	ステージ企画紹介
14:50～	七夕祭入門講座初級（2単位）	情報宣伝部部长（中継）	七夕祭企画紹介
16:00～	ミサンガBASIC（1単位）	会計部	会場内プレゼント企画紹介
16:10～	現在（いま）発～過去へ「歴史の旅」Ⅰ	埋蔵文化財資料館職員	埋蔵文化財資料館企画の紹介
16:45～	御輿構造力学（2単位）	備品部部长	会場内企画「御輿」の紹介
17:10～	現在（いま）発～過去へ「歴史の旅」Ⅱ	埋蔵文化財資料館職員	埋蔵文化財資料館企画の紹介
17:50～	魁!!御輿魂	-	会場内企画「御輿」の中継
19:00～	バタ祭代表対談	副学長・七夕祭実行委員長	山口大学と七夕祭の各代表者による対談
20:00～	平川みんなでバタ端会議	地域の活動家・副学長・学生支援センター長	山口大学職員と学生および地域の三者による意見交換
21:30～ 22:00	エンディング ～さらばバタ祭！また会う日まで～	-	エンディング

※他にも模擬店の宣伝や中継およびお便りの紹介を行った。

v. 参加者への広報

- ・第37回七夕祭実行委員会 Web ページへの掲載
- ・ぽけっとラジオ Web ページへの掲載
- 【生放送専用 Web ページ】 <http://sky.opj.ssc.yamaguchi-u.ac.jp/pbc/tanabata08/>
- ・チラシ（当日、会場入り口およびスタジオ等で配布）

vi. 実施組織

山口大学インターネット放送局 ぽけっとラジオ

石井 政伸（理工学研究科 M1）

平峯 朋子（教育学部 4年）

林 涼子（教育学部 4年）

迎 史子（教育学部 3年）

酒井ひとみ（教育学部OG）

七夕祭実行委員 ラジオチーム「バタラジ」

松屋 翼（工学部 2年）他

山口大学情報機構 メディア基盤センター

・『Live on Radio in Open Campus 2008』

7月中旬から準備を行い、以下の要領で吉田地区オープンキャンパスにおける生放送を実施した。

i. 目的

- ・会場内企画のリアルタイムでの情報提供により、参加者へオープンキャンパスの目的である「“共有”の体験」を促すこと。
- ・オープンキャンパスに参加していない高校生や既卒者、保護者、高等学校教諭に山口大学の姿を知らせること。

- ・アーカイブとしてオープンキャンパスの様子を残すことにより、オープンキャンパス以降に山口大学に関心をもった高校生や既卒者、保護者、高等学校教諭に対して情報提供をすること。

ii. 日時等

日時：2008年8月5日（火） 9:00～16:00（7時間）

場所：山口大学吉田キャンパス共通教育棟 1F エントランスホール

iii. 対象

- ・オープンキャンパス参加者
- ・宇部地区におけるオープンキャンパス参加予定者
- ・高校生や既卒者、保護者、高等学校教諭

iv. 実施内容

ラジオ公開生放送

【配信方法】

- ・ストリーミング配信
- ・ミニ FM (80.8MHz)

表2 『Live on Radio in Open Campus 2008』番組表

時間	タイトル	ゲスト	内容
9:00-10:00	Let's enjoy Open Campus	-	オープンキャンパス企画の紹介
10:00-11:00	学長に聞いてちゃえ！ 山のいろいろなこと	山口大学学長	ラジオ版 学長コーヒアワー
11:00-12:00	キャンパス一周 企画の旅	オープンキャンパス 学生企画実行委員	学生企画の紹介
12:00-13:00	山大に入ろう！	大学職員（アドミッションセンター）	入試について
13:00-13:30	山口大学卒業後	山口大学OB・OG	卒業生より
13:30-14:30	学生サポート 快適キャンパスライフ	大学職員（保健管理センター・学生支援課・学生相談所）	山口大学の学生支援体制
14:30-16:00	実録☆山大ライフまでの道	AO入試・推薦入試・一般入試体験者	入試体験談と学生生活

v. 参加者への広報

- ・山口大学 Web ページへの掲載（オープンキャンパスの情報と共に）
- ・ぽけっとラジオ Web ページへの掲載

【生放送専用 Web ページ】 <http://sky.opj.ssc.yamaguchi-u.ac.jp/psc/opencampus08/>

- ・ポスター（学内に掲示）
- ・チラシ（当日、本部およびスタジオ等で配布）

vi. 実施組織

山口大学インターネット放送局 ぽけっとラジオ

石井 政伸（理工学研究科 M1）

平峯 朋子（教育学部 4年）

迎 史子（教育学部 3年）

松屋 翼（工学部 2年）

村上 智美（人文学部 2年）

林田 久恵（人文学部 1年）

堀ノ内千可（人文学部 1年）

上田 舞乃（人文学部 1年）

岩永 理基（経済学部 1年）

山口大学情報機構 メディア基盤センター

Ⅲ. その他

- ・学内団体による企画の撮影
- ・番組の収録および番組の企画

4. まとめと展望

今年度もこのプロジェクトの活動を通して、メンバー一同、多くの人と出会いながら様々なことを学びました。そうした学びの中で今年度も「インターネットラジオ」をつくっていくことができたと思います。とくに今年度はこれまでの活動の成果として、これまでに比インターネットラジオが学内で受け入れられていっていると感じました。このことから、1年間で成果を出す難しさを感じるとともに、自分たちがいつの間にか「その時」「その瞬間」の成果を求めてしまっているということ気づかされました。そして、長いスパンでプロジェクトについて考え、プロジェクトを継続していくということの大切さを痛感しました。

しかし、このように得るものも多かった活動の反面、私たちの今年度の活動が多くの課題を残すものとなってしまったことは反省すべき事実です。

まず、1つ目にメンバーの世代交代に関する課題です。これはすべての課題の根底に存在する問題でもあります。メンバーの学年上昇に伴い、そのノウハウを伝達していくことは私たちの今年度の課題でした。しかし、本プロジェクトではインターネット放送をする上で複雑な役割が必要となってしまうため、番組の制作をしながら次世代を育てるということまで力が及びませんでした。そこで、前期は番組の制作、後期は次世代の育成に力を入れることとなり、種々の更新が停滞してしまうという事態を招いてしまうこととなりました。

2つ目に映像による番組の配信についてです。今年度から映像による番組の配信を行うことを目標としていましたが、1つ目にあげた次世代の育成という課題もあり、結果として生放送以外では映像による番組配信は行っておらず、配信準備ができた状態ままとなっています。

3つ目にPodcastへの進出についてです。これについては、準備は整っているものの放送局としての体制が安定してから開始しなければ、開始直後につまずいてしまう恐れがあったため現在開始時期を窺っている段階です。

4つ目に学内ネットワークの利用についてです。今年度は2度の生放送を実施しましたが、学内ネットワークを利用してリアルタイムで受信予定のメールが放送終了後に受信されたり、生放送中に学内ネットワークのトラブルによってインターネットによる生放送が1時間程度中断されたりなどのトラブルがおこりました。インターネットラジオにおいて学内のネットワーク利用は避けられないため、今後もそのようなトラブルに巻き込まれる可能性もあるため、そうしたトラブルによる被害を軽減させるためにできることについて考えていく必要があります。

5つ目に、おもしろプロジェクトとの関係についてです。今年度、おもしろプロジェクトの参加ルールに変化がありました。そのことをきっかけに今年度の活動は当初から「おもしろプロジェクトが本来の目的から外れていってしまったのではないか」という疑念を抱きながらのものとなりました。それについて話し合いをもったものの、これまでのようにおもしろプロジェクトに採択されたプロジェクトとして誇りをもち、気持ちよく活動できなくなっている自分たちに気づかされました。当然、プロジェクトへの参加をやめることも考えましたが、結果としてその疑念を抱きながら今年度の活動を終えることとなりました。私たちのプロジェクトは「放送」を扱うという特性上、おもしろプロジェクトとのかかわり方についてもさまざまな可能性があると考えています。どうしてもおもしろプロジェクトは参加によって資金を得ることに焦点が当てられてしまいがちですが、おもしろプロジェクトに参加して得られるものは普通の大学生活では得られないものが多いです。しかし、長く続くプロジェクトだからこそ大事なことを見落としてしまう可能性もあります。ですから、一度原点にたちかえり、これまでのようにおもしろプロジェクトが大学の利益から離れ、あくまでも学生の主体的の「おもしろい」活動を支援するものであり続けてほしいと一プロジェクトとして強く願っています。そして、私たちの活動もそうしたおもしろプロジェクトを支えるものになりたいと考えています。

今年度の活動は課題も残るものとなりましたが、今後もインターネットラジオを通して山口大学をとりまく全ての方々の活動への力添えをしていきたいと考えています。

5. 謝辞

最後に、このような有意義な活動が出来ましたことは、おもしろプロジェクトのご支援のおかげであると感じております。本当にありがとうございます。また本プロジェクトの活動において、ご協力いただいた山口大学メディア基盤センター、活動をあたたかく受け入れてくださった地域の皆様、番組の制作への協力や視聴をしてくださった皆様、ぼけっとラジオを支えてくださった全ての方に深く御礼申し上げます。